

**3月定例会市議会  
総務常任委員会**

# 野洲市まちづくり基本条例継続審議へ

## 住民投票実施のハードル高くする思惑？

住民投票制度の実施を盛り込んだ、「野洲市まちづくり基本条例」の審議が13日、総務常任委員会で行われました。同条例案は、全体として「引き続き、十分な議論が必要」として、「継続審議」となりました。総務常任委員会では、住民投票実施の要件や16歳投票権の根拠などに議論が集中しました。23日の最終本会議で継続が決まれば、6月定例会市議会まで審議されます。

今回の条例制定について、豊政会議員(自民党)などからは、住民投票制度そのものには否定しないが、「原則16歳投票権」への懸念。また、住民投票実施について、市民が請求する『住民投票実施の要件を高くするべき』かのような主張があります。

まちづくり基本条例は、地方自治の憲法とも言われるものです。まちづくりの目標と市民が参加する権利を条例化します。その中で、住民投票制度は、まちの重要施策に対して、市民が参加する重要な制度です。投票要件を高くすることは、市民参加の否定につながります。総務常任委員会で、「住民投票実施の要件の基本的な考えを明らかにすべき」と求めましたが、市の答弁は「今後の検討」と明確にしませんでした。

日本共産党議員団は、「まちづくり基本条例」の早期制定を求めます。そのためにも、市が市民の参加・権利を保障することを規定した住民投票条例案や諸規則等の基本を明らかにすることが必要です。

「野洲市まちづくり基本条例」を審議する総務常任委員会が開催されました。委員会で、同条例案は継続審議となりました。日本共産党市議会団は、引き続き、市民のまちづくり参加を保障する条例制定を求めます。文教厚生常任委員会では、「中学校卒業まで医療費の完全無料化」の請願は、保守系自民党の反対で不採択。滋賀県議会では、「新幹線新駅やめ暮らし守れ」の請願が、自民党や民主党の反対で不採択となりました。

## 新幹線新駅やめ県民の暮らし守って **滋賀県議会**

### 「しあわせ署名」自民・公明・民主系議員が多数で否決

=賛成	=反対	=会派内で態度が違う	共産	自民	民主	公明	対話

=賛成 =反対 =会派内で態度が分かれる。対話=「対話の会」



「新幹線新駅の建設はきっぱり中止し」「中学校卒業まで医療費を無料化して」「介護保険の利用料軽減へ県独自の補助を」など7つの請願は、13日の県議会で自民党・公明党・民主党の県議会議員が反対して不採択となりました。

賛成したのは、日本共産党の2人の県議だけでした。どの党・どの議員が県民の願いを託せる議員か、ハッキリしました。

あくまで新幹線新駅推進の自民党、「推進のための凍結」の民主党ですが、いずれも、「無駄な新幹線に税金を投入し、暮らし・福祉の切捨て」をすすめることには同じ考えです。

## 野洲市議会 中学卒業まで医療費の完全無料化を 豊政会(自民党保守会派)の反対で否決

野洲市母親大会実行委員会から出されていた「中学卒業まで医療費の完全無料化を求める」請願は、16日の文教厚生常任委員会で審議されました。紹介議員の野並市議は、「4700万円あれば出来る。子育て支援のために、入院だけでなく通院も含めて無料化をすべき」と請願採択を求めました。

豊政会所属の議員は「財政がきびしいから、今は無理」「子育ては親がすべき。何でも無料はいかなるものか」と反対し、否決しました。

**やす民報**

日本共産党野洲市委員会  
2007年3月18日 118

暮らしのご相談、ご要望  
お寄せください

市議会議員 **小菅六雄** (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184  
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市議会議員 **野並享子** (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102  
(メール) no73kvoko@yahoo.co.jp (HP) http://www.vasusigi.net/~nonami/